

# 協働の まちづくり

## ニュース

Vol.4  
2008.3月号



リーダー育成研修



協働職員研修



アートフェスティバル



そば打ちD.E.国際交流

### 協働への“共通意識”的共有が進んでいます！

昨年末の「協働のまちづくり指針」の策定や、上記写真の「協働職員研修」など、協働への意識を明確化するための様々な取組が続々と始まっています。今後も、市民向けの「協働講座」などに積極的に取り組み、「日向市の協働のあり方」が共通認識として普及するよう取り組んでいきます。



目次

- P 2～3 特集／欽ちゃん球団GG実行委員会大追跡！！  
日向キャンプ実行委員会に密着取材。詳細をお伝えします。
- P 4～5 協働へのアプローチ／松原再生プロジェクト  
新連載「これが私たちの協働です！」
- P 6 市民協働課掲示板／『ひまわり日記』
- P 7 市民活動グループ紹介
- P 8

# 『欽ちゃんが日向に帰ってきたよ！』



実行委員会が支える欽ちゃん日向キャンプ

GOLDEN GOLOS  
欽ちゃん  
おかえり

凱旋  
“帰郷”  
欽ちゃんファーバー  
再び！



◆抱負を叫ぶ片岡選手と欽ちゃん



◆伝説のマイクパフォーマンスが炸裂！

翌日3日の練習前には、チーム全員で大御神社周辺の海岸清掃を行い、その後、さざれ石群の前で今年の抱負を海に向かって絶叫！チームの紅一点・片岡安祐美選手は、「公式戦スタメン出場」を秋本監督の前で、高らかに宣言しました。

備した約300キロの紙ふぶきが舞う中、全日本クラブ野球選手権優勝記念凱旋パレードが行われ、雨天にも関わらず、多くの市民がチームを歓迎しました。

「歓迎セレモニー」では、実行委員会を中心に、市民が手作りで準備した約300キロの紙ふぶきが舞う中、全日本クラブ野球選手権優勝記念凱旋パレードが行われ、雨天にも関わらず、多くの市民がチームを歓迎しました。

8日間のキャンプを通して、延べ2万人を超える観客を集めた「欽ちゃん球団茨城ゴールデンゴールズ日向キャンプ2008」。報道でも大きく取り上げられ、日向市の情報を全国に発信することが出来ましたが、その華々しい舞台の裏で、実行委員会の皆さんのが尽力されたことはあまり知られていません。ここでは、「欽ちゃん球団ゴールデンゴールズ日向キャンプ実行委員会」の取り組みについて報告します。

午後からは、大王谷運動公園野球場へと移動し、キャンプ練習がスタート！初日から紅白戦を行い、欽ちゃんのマイクパフォーマンスで会場は大いに盛り上りました。今回のキャンプの目玉として行われた「茨城ゴールデンゴールズ対チームそのままま宮崎」の交流戦は、およそ4000人が観戦。市内のみならず、県外から多くの観客が訪れ、会場のお倉ヶ浜総合公園は大きな笑いの渦に包まれました。

特集

# 欽ちゃん球団茨城ゴールデンゴーラズ 日向キャンプ実行委員会

日向活性化実行委員会の歩み



◆合言葉は「みんなで盛り上げる！」。雨の中の  
授業もみんなでやれば、苦難で出来ます。

欽ちゃん球団ゴールデンゴールズ日向キャンプ実行委員会(以下、日向市観光振興と、地域の活性化を図ることを目的として、平成17年1月10日に発足しました。当時本市でキャンプを行っていたプロ野球球団の存続問題等もあり、「何とか日向を明るくしたい」との思いで設立された経緯があります。そんな状況の中、萩本監督が設立した球団との出会いがあり、春季キャンプ誘致が実現しましたその後、様々な問題を監督、コチ陣、選手、チーム関係者、G実行委員会、そして日向市民のみなさんと共に乗り越え、現在に至っています。



ました。(写真左)

活動は、日向市内に限つたものではありません。チームの試合の応援に駆けつけるのはもちろん、必要時には市外での打ち合わせにも参加します。

GG実行委員会の活動は、キヤンプ期間中のチームの受け入れに限つたものではありません。1年間を通じて、様々な活動をしています。

今年で4回目を迎えた「歓ちゃん球団茨城ゴールデンゴールズ日向キャンプ」ですが、これまでも多くの観客を集めることに成功しました。しかし、実行委員会のメンバーは口を揃えてこう言います。「日向が盛り上がったことには満足していますが、これからが本当の意味でのスタートです。」と。これからも大注目です!

ここがゴールではなく  
これからがスタート！



茨城GG日向キャンプ  
ブ2008も無事終了しました。初日の歓迎セレモニーこそ雨になりましたが、その他は暖かい晴天が続き、実行委員の皆さん、熱い思いが天に届いたのだと感謝しています。

茨城GGのキャンプは、実行委員会を始め、市民の皆さんの手作りで運営しています。歓迎式のくす玉も老人ホームの方々に作っていただきました。萩本監督も感激され、施設を訪問し、多くのお年寄りとのふれあいも実現しました。

今年も色々な面で萩本監督にご配慮いただき、在京キー局全てが当該キャンプや交流試合の模様と同時に、日本の観光地や名産品などを、朝のワイドショー、夕方のニュース等で紹介していただきました。

実行委員長  
則貞通 純さん

支那三十六景会インタビュー

## 「子どもの松原再生プロジェクトin伊勢ヶ浜」

### 企業・地域・ミユニティ・行政の協働の形

去る2月10日(日)、伊勢ヶ浜海水浴場にて、「子どもの松原再生プロジェクトin伊勢ヶ浜」が行われました。イベント当日には、堀一方区住民、県造園緑地協会日向支部、サーフアーズクラブ、宮崎北部森林管理署、市役所職員など、およそ400名が集まり、松苗木の植樹を行いました。

今回の「協働のアプローチ」では、このイベントの詳細について紹介します。

協働により実施する事業が、「子どもの松原再生プロジェクト」です。

「子どもの松原再生プロジェクト」とは、松枯れ被害などにより松がなくなつた海岸に、もう一度松を植えることを通して、小学生や地域の人たちによる松原に親しむ環境教育的な機会を作り出すことを目的として、(財)日本緑化センターが展開している事業です。松には、地球温暖化防止や環境共生の手本などといった、多くの意義が存在します。海岸松林は、津波の防波堤の役割も担います。これらを広く周知してもらうために、様々な関係団体(個人を含む)が



◆代表者に松苗木の贈呈が行われ、植樹のスタートです

行政だけでなく、市民の代表も参加する「設立会議」において、植樹を行う候補地が「伊勢ヶ浜」と決定され、植樹に向けての準備が進められました。イベント当日の植樹に先駆け、伊勢ヶ浜の下草刈りや植栽位置のマーキング等の作業が市民主導で分担して行われ、植樹の日を迎えました。

2月10日(日)、快晴の空の下、「子どもの松原再生プロジェクト

トin伊勢ヶ浜」が行われました。開会式が行われた後、松保護士の奈須隆男氏より、「松原を守る話」、「松苗木の植え方」についての講話が行われ、その後、1・500本の松苗の植樹が行われました。

植樹に参加した市民からは、「自分で植えることで、愛着が湧いた」、「松くい虫に負けず、丈夫に育つてもらいたい」、「育っていく過程を見守りたい」、「またこういう活動に参加したい」といった感想が多く聞かれました。



◆「松原の大切さ」を説明する松保護士の奈須さん

# 特集/子どもの松原再生プロジェクトin伊勢ヶ浜

## 参加者の声

株相互造林

中島 寛人さん



40数年前になるでしょうか。会社の運動会や海水浴等で、伊勢ヶ浜の松の木陰には大変お世話になりました。祖母の作ってくれた大きなおにぎりをほおばつたのも松の木陰でした。また、私の子供達の卒業遠足も伊勢ヶ浜でした。私に限らず、多くの人が伊勢ヶ浜の



堀一方区長  
黒木 勇さん



今回の伊勢ヶ浜での「子どもの松原再生プロジェクト」がスタートとなつて、これから「海岸の松原ルネッサンス」につながっていく事を願っています。

昔の松林を取り戻そうと、平成14年から堀一方区の黒潮実年会で、年2回の下払い作業を実施してきました。この度は、その下払いをしている場所を主体に害虫に強い抵抗松を区民及び区外も多くの方々が参加していただき植樹をしま

クラブなど大勢のボランティアの皆さんのご協力で、大成功をおさめる事が出来ました。大変感謝致します。

今回の伊勢ヶ浜での「子どもの松原再生プロジェクト」がスター

トとなつて、これから「海岸の松原ルネッサンス」につながっていく事を願っています。

松の思い出を持つていると思います。

今回のプロジェクトでは、日向市環境整備課が窓口となり、色々な方面的連絡等に当たつていただきました。今回は、堀一方区・日知屋本郷区の子供達と市民の人達を中心に、裏方にまわつていただいた宮崎北部森林管理署・市役所の皆さん、そして県造園緑地協会日向支部・緑風会や日向サーファーズ

松の思い出を持つていると思います。

今回のプロジェクトでは、日向市環境整備課が窓口となり、色々な方面的連絡等に当たつていただきました。今回は、堀一方区・日知屋本郷区の子供達と市民の人達を中心に、裏方にまわつていただいた宮崎北部森林管理署・市役所の皆さん、そして県造園緑地協会日向支部・緑風会や日向サーファーズ



環境整備課  
中山 澄子さん



子どもたちから大人まで多くの市民に親しまれている伊勢ヶ浜に、昔の松原の面影を取り戻す目的で、「子どもの松原再生プロジェクト in伊勢ヶ浜」が実施されました。

プロジェクトは、行政と地元堀一方区、造園緑地協会日向支部その他各種ボランティア団体等の協力による市民協働事業として開催いたしました。

地域の子どもたちが、日頃より親しみのある伊勢ヶ浜に松を植樹することで、ふるさとの自然や環境の保全について関心を持つて欲しくないと考え、森林環境教育も同時に実施いたしました。

多くの市民の参加をいただき、好評のうちに本プロジェクトを実施できましたことに対し、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

成長していく松林を、そして、成人した10年先・20年先は自分たちが愛情込めて植樹した松が大きくなりることで、子どもたちにとつても大変有意義な記念すべき植樹であつたと思います。

又、遠足や海水浴等で訪れる人たちが、きれいな白砂・青松を見て、思い出に残るように、松原再生に向けて、地区的夢を大切に、松林の管理に努めています。

# 協働の取組紹介

## これが私たちの協働です！

第1回

## 九州電力株編

市民と行政との協働により策定した「協働のまちづくり指針」の中で、「協働のまちづくりの担い手」としての「市民、行政に期待される役割」が示されました。その中で、企業に期待される役割が示されました。以前からそのような活動に取り組んでいる企業も多く存在します。「協働のまちづくりニュース」では、このような素晴らしい活動を市民の皆さんに知っていただくために、「これが私たちの協働です！」と題した紹介コーナーを新設することになりました。第1回は、「九州電力株」の取組を紹介します。

九州電力㈱では、CSR（企業の社会貢献責任）への取組の一環として、日向営業所における「日向童謡フェスティバル」の開催や清掃ボランティア参加活動、日向電力所における施設清掃活動や電気設備の清掃などの社会貢献活動を行っています。

九州電力㈱では、「協働のまちづくり指針」でも触れられている「社会貢献活動を通して協働のまちづくりに積極的に寄与する」と目的とし、独自の地域共生活動を広く展開しています。快適で豊かな地域・社会の実現と、その持続的な発展を目指し、企業の社員としてはもちろん、一人の市民として、積極的に地域・社会との共生活動を推進しています。

協働事業のモデルケースとして、今回は九州電力㈱の取組を紹介します。



### 活動紹介①

#### ☆日向営業所の取組☆

#### 日向童謡フェスティバル

心の故郷である日本の伝統的な童謡・唱歌を子供たちに伝えていると、九州電力と日向・門川の童謡グループがタイアップして毎年開催しています。



### 活動紹介②

#### ☆日向電力所の取組☆

#### 慈謡老人ホーム「鈴峰園」清掃

施設清掃活動は平成6年から実施しており、今年で13回目となりました。今年も3事業所26名で照明器具及び換気扇など、主に電気設備の清掃を行いました。

九州電力㈱日向電力所  
発送電課 甲斐 敦史さん

私は、阪神淡路大震災の現地ボランティアに参画して、地域住民が助け合うことのすばらしさを目の当たりにし、その経験を個人のボランティア活動に生かしてきました。

これからは、地域企業の社会貢献活動担当として、一人でも多くの社員に、地域の一員として社会貢献活動に参加することの大切さを伝えていきたいと思います。

九州電力㈱日向電力所  
ソリューション営業G 村岡 淳一さん

九州電力では各事業所で独自の地域共生活動を行っています。日向営業所でも上記のフェスタを始めとして小学生を対象とした少年サッカーフェスティバルや大御神社の清掃ボランティア活動、市やNPOが実施する植樹活動や清掃活動への参加など地域に根差した活動を積極的に行ってています。私は、事務局として参加することが多いのですが、活動の中でたくさんの人と知り合うことや、あの達成感を共有できることがとても楽しみになっています。



# ひまわり日記 ~市民協働課からのお知らせ~



◆2日間に渡って、多くの職員が協働を学びました。

1月29日・30日の2日間、市職員を対象に、「協働のまちづくり」推進のための研修が行われました。この研修は、「新しい日向市総合計画」に掲げられている「市民との協働」のまちづくりを推進するため必要となる、協働に対する正しい理解と前向きな姿勢を学ぶため、当課が主催したものです。講師に、特定非営利活動法人（NPO法人）「コミュニティ・サポートセンター神戸」（以下、C.S.神戸。）理事長、中村順子さんを招き、協働の基礎知識に関する講義と、協働による課題解決に



◆自身の震災の経験を踏まえ事例を紹介する中村さん

についてのワークショップを実施しました。今回の研修には、延べ186名が参加し、協働についての理解を深めました。参加した職員からは、「協働について、これまでイメージが沸かなかつたが、研修を通して理解することができた。」、「今後は、市民と共に日向市を動かすという意識を持つて働きたい。」といった感想が聞かれ、行政職員の中にも、協働の風が吹いていることを実感することが出来ました。

## 「協働」の職員向け研修が行われました！

**「協働」の  
市民講座を  
開催します！**



① 日時・場所	② 3月4日(火)	③ 3月5日(水)
日知屋公民館	19:00～21:00	19:00～21:00
東郷西公民館	19:00～21:00	19:00～21:00

今回の講座では、具体的な事例を紹介しながら、「協働のまちづくり」について、わかりやすく説明します。

これまで市の広報などでPRしていましたが、3月に「協働のまちづくり」推進のための市民講座が行われます。日向市でも、「協働のまちづくり指針」を策定するなど、ですが、その手法については、まだまだわからないことが多いのが現状です。

エディターズ  
ノート

▼今年度、最後の情報紙編集でした。今回は、「飲ちゃんとキャンブ」・「職員研修」・「事例紹介」など、内容的には盛りだくさん！書きこたえがありますが、この情報紙に掲載する団体や活動を募集します。いつも懇意に書きました。右の欄にもありますが、この情報紙に掲載する団体や活動を募集します。いつでも懇意に連絡ください。

(シ)

## 編集後記

## 募集します！

市民協働課では、情報紙「協働のまちづくりニュース」にて紹介する『協働の取組』を募集します。自薦・他薦は問いません。「これって協働？」と思ったら、市民協働課までご連絡ください。私たちが、皆さんの活動をPRします！！

連絡先は、裏表紙下に記載の“市民協働課”まで。

特定非営利活動法人

# 元気印

## こども遊センター

所在地 日向市上町3番15号  
 代表 黒木直美さん  
 連絡先 TEL 54-1635

こども遊センターは、日向市において、子どもの育ちを喜びあえる地域社会と、共に育ちあえる子ども社会を再生すること、子どもの意思が尊重される社会を形成することを目指して設立された特定非営利活動法人(NPO法人)です。子どもの遊びと文化に関する事業や情報を、また、親子や親同士が交流できる場を提供し、不安なく豊かな気持ちで子育ての出来る地域社会の実現を目的として、様々な活動を行っています。今年度も、『こどもまつり』、『オセロ大会』、『餅つき大会』などを行い、たくさんの方に参加していただきました。

今後も、様々な活動を通じて、地域の子どもたちを育てるお手伝いが出来ればと考えています。



◆様々な活動の一コマ◆

### つどいの広場 たんぽぽきっず

ひとりで頑張らないでみんなで子育てしましょ

たんぽぽきっずは、  
みんなの笑顔を応援します。  
子どもも おとなも みんな  
にここに自分らしくすごすために  
つどい場所です。



特定非営利活動法人

**こども遊センター**

email: hk-kodomo-you@cello.ocn.ne.jp  
<http://kodomoyuu.yukigesyo.com/>

#### ママの ティータイム

だまには、ゆっくり  
お茶を飲んで  
おしゃべりしましょ

約1000冊

まちなか  
子ども図書館  
本の貸し出しをしています。  
初回登録料 200円

お楽しみ会  
第4火曜日  
10:30~11:30

絵本と手あそび  
第1・3火曜日  
10:30~11:30

利用時間 火・木・金 10:00~17:00  
 水・土 12:00~17:00

## 協働のホームページが誕生します！

日向市では、「協働のまちづくり」推進に関する取組と、関連する「国際交流」「男女共同参画」「人権・同和問題」推進の取組を紹介するホームページを、今年4月に開設します。「新しい日向市総合計画」の基本理念のひとつである「市民との協働」を推進し、より多くの市民の皆さんから「協働」を感じてもらえれば幸いです。開設まであとわずかです。ぜひ一度ご覧ください。

日向市 協働のまちづくり

検索